

2012 年度
環境活動レポート

2012 年 10 月 1 日

昭和ネームプレート株式会社

環 境 方 針

昭和ネームプレート株式会社は、事業活動において

- ① 地球環境の保全が人類共通の最重要課題であること
- ② 地域社会の環境保全が地域の発展及び共存の上で重要であることを認識し、可能な限りの範囲で目標を定め、省資源、省エネルギー、リサイクルを推進し、環境負荷に配慮した活動を実行します。それらをふまえ下記に環境方針を定め継続的に改善します。

- 1. 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
- 2. 電気・ガソリン・ガス等のエネルギーの削減
- 3. 水資源の節水
- 4. 化学物質を正しく使用し管理する
- 5. 環境関連法規制等の遵守
- 6. グリーン購入の実施
- 7. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮

2012年9月1日

昭和ネームプレート株式会社

代表取締役 瀬田 昭男

事業活動の概要

- (1) 会社名 昭和ネームプレート株式会社
- (2) 代表者 代表取締役社長 瀬田昭男
- (3) 設 立 1957年（昭和32）4月29日
- (4) 資本金 1,000万円
- (5) 事業内容 ネームプレート・パネル・ラベルの製造及び販売
- (6) 事業規模 年間売上 約437百万円（2012年度実績）
従業員 32名
- (7) 本社所在地 東京都荒川区荒川6-52-10
TEL 03-3892-4221（代） FAX 03-3892-4222
- (8) 審査対象工場 昭和ネームプレート株式会社 埼玉工場
埼玉県越谷市蒲生3882-1
TEL 048-988-7611（代） FAX 048-986-6261
E-mail kamiya@showa-np.com
- (9) 工場規模 延面積 約1,089㎡
- (10) 環境管理責任者
代表者 代表取締役社長 瀬田昭男
管理責任者 管理部部長 神谷丈夫

環境目標とその実績

			2009年度 2008.9 ~ 2009.8	2012年度 2011.9 ~ 2012.8	2013年度 2012.9 ~ 2013.8	2014年度 2013.9 ~ 2014.8	2015年度 2014.9 ~ 2015.8
			(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
二酸化炭素排出量削減	電力の削減	総量 (kWh / 年)	125414	113077	111946.23 (1%)	110815.46 (2%)	109684.69 (3%)
	ガスの削減	総量 (ℓ / 年)	64.2	58.4	57.8 (1%)	57.2 (2%)	56.6 (3%)
	ガソリンの削減	総量 (ℓ / 年)	12076.71	11579.65	11463.85 (1%)	11348.05 (2%)	11232.26 (3%)
	CO2の削減 (上記の合計)	総量 (t / 年)	75.594	70.537	69.831 (1%)	69.127 (2%)	68.421
節水	総排水量削減	総量 (m ³ / 年)	823	484	479 (1%)	474 (2%)	469 (3%)
廃棄物量の削減	一般廃棄物削減	総量 (kg / 年)	1202	585.6	579.8 (1%)	573.9 (2%)	568.0 (3%)
	産業廃棄物の削減	総量 (kg / 年)	7692.4	5540.4	5484.9 (1%)	5429.5 (2%)	5374.1 (3%)
	段ボールの再利用	再利用率 (kg / 年)	568	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%

1 今期も 2011 年 9 月から 2012 年 8 月までの実績を基に BM を設定した。前年度数値がクリアに至らなかった為、(震災時期) 再度設定を変更し削減に取り組む事。削減率が年々厳しくなりつつあり、今後の活動内容が問われる時期に来ている。

2 水道は 2 ヶ月に 1 回の測定

この他に次のことに取り組みます。

- ・化学物質を正しく使用し管理（棚卸し等）削減にむけて活動する。

環境目標・活動計画と評価

対象期間(2011年9月～2012年8月)までの目標とその実績についての計画と評価

	取り組み項目	達成状況	評価(結果と今後の方向)
二酸化炭素排出量の削減	<u>電力・ガス・ガソリン等の削減</u>	B.M に対し未達成 1% 目標 に対し +3.7%オーバー	前期実績を基に活動に対し未達成となった。今期は前々期実績を基に BM 設定するが、今期も非常に厳しくなり活動が問われる時期と言える為、活動内容を見守る。
節水	<u>総排水量の削減</u>	B.M に対し達成 1% 目標 に対し -32%削減	目標数値に対し大幅な削減となった。今期より通常業務に戻る為、厳しくなることが予想される。更なる意識を持ち活動する。
一 廃棄物の削減	<u>一般廃棄物の削減</u>	B.M に対し未達成 1% 目標 に対し +12.2%	目標に対してオーバーしてしまった。倉庫内の大掃除をし、大量にゴミが出たためと思われる。今期も厳しくなることが予想される為強い意識を持ち活動していく。
	<u>産業廃棄物の削減</u>	B.M に対し達成 1% 目標 に対し -9%削減	目標数値に対しクリア出来た。微妙な数値での削減であった。今期からは通常業務に戻る為、社内の生産工程上の廃棄物の削減が重要になる。
化学物質の使用と管理	使用化学物質の種類を把握し正しく管理する。	社内にあるインクや溶剤等の使用状況・保管量を把握する。	棚卸し等の管理を行い、今迄以上の管理が出来た。今期も有機溶剤を安全に、正しく使用していく。
<p>(総評) 今期トータル的にみると数値的には未達成部分が見受けられる。しかし、意識レベルについては定着しつつあり、今期末達成部分を分析し活動に繋げたい。また、今期新設備導入又前年度より稼働日数の増加に伴い電力の上昇は確実であり更なる努力が必要である。</p> <p style="text-align: right;">代表取締役 瀬田昭男</p>			

環境関連法の遵守状況

環境関連法規等へのとおり、遵守しています。

「埼玉工場に適用とする環境関連法規一覧表」を基にその遵守状況を評価した結果、遵守していることを確認した。また、過去5年間にわたって違反や訴訟は1件も発生していません。

昭和ネームプレート株式会社埼玉工場

代表取締役社長 瀬田昭男

管理責任者 神谷丈夫

2012.10.1

次年度環境目標（2013年度）

(H.24.2.9.～H.25..8)

	環境目標 (単位)	基準年度 2012年度(実績)	2013年度(今年度) 削減目標	削減の為の実施 項目
1	CO2排出量の削減 (t-CO2/年)	70.537	1%(69.831)	全ての部署に於いて節電意識のレベルUP
2	総排水量の削減 (m ³ /年)	484	1%(479)	更なる節水活動
3	一般廃棄物の削減	585.6	1%(579.8)	廃棄物の更なる分別によりリサイクル化の推進活動
4	産業廃棄物の削減 (廃プラ)	5540.4	1%(5484.9)	余剰生産と不具合品の識別活動
5	化学物質使用量の把握	使用化学物質の把握	使用化学物質量の把握	年度末の集計により削減活動意識に繋げる
6	グリーン調達の推進	グリーン購入等の推進	グリーン購入等の推進	環境に配慮した製品購入の推進
7	自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮	環境負荷の低い環境に配慮した事務用品・原材料等の購入。販売時の包装簡易化	環境負荷の低い環境に配慮した事務用品・原材料等の購入。販売時の包装簡易化	環境負荷の低い環境に配慮した事務用品・原材料等の購入。販売時の包装簡易化

前期の評価結果をトータル的に見るとCO2に関連する項目(電気・ガス・ガソリン)において未達成時期が多々見受けられる為、次年度目標については重点的に監視する。

承認	作成

代表者による全体取組状況の評価及び見直し結果

①電気使用量

昨年以來、電力不足等の危機もあり電気についてはかなり節電意識が定着したように思える。但し、来期に向けて 3D 昇華転写設備の導入や稼働日数の増加により電力使用量の増加が予測される。それを少しでも解消する為には、先般導入した電気使用量モニターを有効的に利用、つまり使用量をリアルタイムで把握する事により、全員が更に電気使用量を意識しエコ的な活動に結びつけなければならない。

②廃棄物

廃棄物については特に産業廃棄物は大きく削減されており、生産量（売上げ）が増加したにもかかわらず廃棄物が削減された事は評価できる。引き続き無駄な材料投入や不良削減等を意識した作業を心掛け、廃棄物を減らす事を実施したい。

各部署、しいては各個人によっても貢献できる役割が変わってくる。

管理部においては効率的な製品作りの準備（版の作り方、効率的な手配数等）や無駄紙の削減、製造部においては不良率の減少、材料投入の減少等、品証部においては不良レベルの見直し等一人一人が違った観点から取り組まなければならない。

それら成果の集大成が削減に繋がる事を認識したい。その結果、会社＝社員の利益に繋がる事になる。